



えほんだよりー最終号ー

NO・8 R3・2・24

今年度も残すところ1か月程となり、各学年生活の見直しをしながらまとめの大切な時期を過ごしているところです。

令和2年度は、今までとは違いコロナウイルス感染症拡大の為、園生活も6月からの新年度スタートとなりました。絵本の貸し出しも検討を重ね、コロナ禍だからこそ、「親子のコミュニケーションを通して自分が愛されていると感じて欲しい」「大人の膝に入り、目の前には素晴らしい絵の世界が広がり、温かい声と膝のぬくもりが伝わる愛の体験をして欲しい」という思いで9月から感染予防対策を十分に行いながら絵本の貸し出しを開始しました。取り扱いも安全に行うことが出来、ありがとうございます。

子ども達は、自分のクラスに置いてある季節によって変わっていく様々な絵本の中から、「先生が読んでくれた絵本がもう一回見たいなあ！」「この絵本は家にあるよ！」と言いながら、同じ絵本を選んだり、「この絵本は、見たことないでこれにする！」と、友だちと話しながらかお家の人に読んでもらう事を楽しみに、借りていく姿が見られました。

「できるかな5」の取り組みにも、「お家の人に絵本を読んでもらおう」の項目を3回とも取り入れ、たくさんの絵本を読み聞かせして頂き、ご協力ありがとうございました。



【子どもの心を育てる本】

こども園では、年間を通して各クラスで先生たちが選んだ心を育てる本の読み聞かせをし、絵本の内容や子ども達の心の動き、感じた事等を絵本だよりで紹介してきました。そして、コロナ禍ということもあり、園長先生に放送で読み聞かせしてもらい小さい子なりにじっと耳を傾け頭の中で想像し、お話を楽しむ姿がみえました。

「子どもの心を育てる本」6冊の読み聞かせをして、保育士が感じた事は・・・



- ◎簡単な本から難しい本まであったが、静かに最後まで見て聞いて、その後の感想もその子その子色々感じているなあと思った。
- ◎悲しい話、考えさせる話など、子ども達にも色々な事を感じて欲しいという思いを持って読むことの大切さを改めて感じた。
- ◎戦争の事、震災の事など体験してない事を知り、命について絵本から知って学んでいく大切さを感じた。
- ◎読み終えた後にどう思ったか話し合う事が出来、感じた事を共有出来て良かった。



【未満児さんも絵本大好きです！】

0, 1歳児（いちご・ひよこ組）

子ども達に人気の絵本は、「ごんごんごんごー！」乗り物絵本「パパ カレー」カレーが出来るまでの絵本「きこえる？きこえるよ」音が聴こえてきそうな絵だけの本です。

「おおきなかぶ」「てぶくろ」などのお話では、「うんとこしょどっこいしょ」や「いいよ」「どうぞ」など絵本に出てくる繰り返しの言葉を楽しむ姿がみられ、皆で一緒に楽しんでいきます。

2歳児（うさぎ組）

「3びきのやぎのがらがらどん」

子ども達がよく「よんでー」と選んでくる人気の絵本です。保育士が読み聞かせをすると「かたこと かたこと」と橋を渡る真似をして楽しんでいます。

「どうぶつパンパン」

色んな動物のパンが登場します！パンをこねて焼けるまでがよくわかり、美味しそうに見えてジャムを使ったりマヨネーズやチョコ、砂糖でデコレーションしていくところも大好きです。「うさぎ（パン）がいた！」と、動物あてクイズみたいに楽しむ子ども達です。

未満児さんもこども園やお家での読み聞かせで、たくさんの絵本に出会え楽しめましたね。



【読み聞かせを通して・・・】

今年度は、絵本貸し出しの期間を金曜日に借りて次週の金曜日に返却としました。一週間の貸し出し期間を作りゆったりと何度でも家族の人に読んでもらう事ができたかと思いますがどうだったでしょうか？子ども達は、「お母さんとお父さんに読んでもらったよ」「おばあちゃんにも読んでもらったよ」など、色んな人に自分が選んでいった絵本を読んでもらい嬉しそうな姿が見られましたよ。

これからも、「子どもの心を育てる本」や伝統行事の由来のお話など、様々な絵本の読み聞かせを通して「自分と同じ気持ちだなあ」「心地いいなあ」「どうしてかな？」「不思議だなあ」と考えたり興味を広げる事ができる機会になるといいなあと思います。

コロナ禍の大変な時期ですが、親子のコミュニケーションを育む

絵本の読み聞かせを大切に過ごしていきましょう！！

